

シンポジウム

近世東アジアの至宝、 上杉景勝受贈の明朝冠服

山形県米沢市上杉神社に伝わる上杉景勝受贈の明朝冠服に関する共同研究の成果、新宮学編『上杉景勝と明の冠服: 中国から贈られた高官衣装』(吉川弘文館)が今年2月に刊行されました。本シンポジウムでは、研究代表の新宮学先生以下、メンバーの先生方に、その成果とさらなる研究の展望をご講演いただきます。

2025 **12.5** 金
14:40~18:00

会場 山形大学人文社会科学部 103教室



第1部 14:40~ 研究報告①

大野晃嗣 (東北大学)

米沢市上杉神社所蔵「明国劄付上杉景勝宛」について

研究報告②

水盛涼一 (多摩大学)

華服を着る“蕃夷”——官服授受にみる中国西南域の懐柔と支配

研究報告③

渡辺健哉 (大阪公立大学)

元明時代の靴——『上杉景勝と明の冠服』に寄せて

第2部 16:30~ 講演

新宮学 (山形大学名誉教授)

近世東アジアの至宝、上杉景勝受贈の明朝冠服

一般聴講歓迎